

学校 教育 目標	自主・創造・共生 ○自ら学び、自ら考え、つくりだす力を育てます【知】 ○お互いに認め合いながら、共に伸びていこうとする態度を育てます【徳】 ○たくましい心と健やかな体を育てます【体】 ○社会とのかかわりを大切に、共に生きる態度を育てます【公】 ○さまざまな変化に柔軟に対応できる力を育てます【開】				
	学校概要	創立 46 周年	学校長 加藤 裕之	副校長 イノウエ 啓子	3 学期制
児童生徒数： 303 人		主な関係校：横浜市立中沢小学校			

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	旭中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
・自ら学び、自ら考え、行動する力 ・他を認め、協働して課題解決をする力 ・変化に対応し、創造する力	旭中学校 中沢小学校	自ら学び、自ら考え、共に認め合い、協働して課題解決を進める子ども ・主体的・対話的で深い学び、ユニバーサルデザインの授業を中心とした「共通授業コンセプト」の理念を実現するため、小中合同授業研究会を充実させる。 ・9年間で一貫した「児童生徒指導スタンダード」の定着を図るため、小中合同研修会を充実させる。

中期 取組 目標	○1小1中という恵まれた環境を生かして、小中連携を充実させ、併設型小中学校として、学習・生活の両面で9年間一貫した教育活動を行います。 ・特別支援の考え方をともに、授業のユニバーサルデザイン化を図ります。 ・人とのかかわりの中で居場所や役割を実感させ、自尊感情や社会性を育成します。 ・地域と連携・協働しながら、社会で求められる資質・能力を子どもたちに育みます。
----------------	--

重点取組分野	具体的取組
生きてはたらく知	①「共通授業コンセプト」が定着するよう、授業評価や教員相互の授業見学を実施し、教員同士の相互研さんを充実させる。②「学校の新しい生活様式」に対応しながら、従来型の対話活動だけでなく、閲覧・掲示やICTも効果的に活用しながら、主体的・対話的で深い学びを実践する。
担当 学習指導部(授業改善)	
豊かな心	①「一人ひとりの居場所づくり、自己有用感や自尊感情の育成」の基本理念を徹底するため、定期的に「児童生徒指導のスタンダード」を確認し、指導の改善を図る。②道徳科と他教科をより関連付けた年間計画を立て、各教科での実施状況を確認することで、教育活動の質の向上を図る。
担当 生徒指導部/学習指導部	
健やかな体	①月ごとに「体と心の健康カード」を使って、健康生活の振り返りを行い、基本的な生活習慣の定着を図り、健康で安全な生活を実感できるように取り組む。②体力テストの結果を活用しながら、生徒が個々の課題意識をもって体力づくりを行えるように指導する。
担当 保健安全指導部/体育科	
特別支援教育	①教職員が生徒一人ひとりのよさ(強み)を共有し、共感的理解をもって生徒理解を深め、個に応じた指導・支援を実践する。②特別支援教室の意義を全教職員で共通理解し、特別支援教室の多様な活用方法を検討することで、アダプティブな支援体制づくりを進める。
担当 生徒指導部	
特別活動	①行事等での集団活動や話し合い活動において、「人間関係形成」、「社会参画」、「自己実現」の三つの視点を大切に指導を行う。②学校教育目標と生徒会活動のつながりを示した構造図を作成し、様々な集団活動において、教職員がねらいを共有して指導を行えるよう取り組む。
担当 特活指導部	
地域連携・ 学校運営協議会	①地域の想いを大切に教育活動の実現を目標とし、地域・防災科と他の教科をより関連付けられるようカリキュラム・マネジメントを行う。②生徒の自己有用感を高めるために、学校運営協議会や保護者・地域と協働した活動等で把握した地域の大人の声を生徒に届ける機会をつくる。
担当 渉外部	
担当	
担当	
いじめへの対応	①行事、特別活動や授業などの様々な場面で一人ひとりの特性を生かし、仲間から認められる機会を意図的につくり、生徒一人ひとりの居場所があり、役割を実感できるようにすることで、親和的な集団づくりを進める。
担当 いじめ防止対策委員会	
人材育成・ 組織運営 (働き方改革)	①経験の浅い教職員が主体的に実践力を高められるようにメンターチーム研修を行う。②主幹・主任会で、ミドルリーダーが学校経営への理解を深め、学校運営に様々な意見具申を行う。③業務内容や業務分担を見直し、業務の効率化を進めながら、「教職員の働き方改革プラン」に基づいて時間外勤務のさらなる縮減を図る。
担当 主幹・主任会	